



2024年4月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ク ア ラ イ ン
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 大 垣 内 剛
(コード番号：6173 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役経営企画部長 加 藤 伸 克
(TEL. 03-6758-5588)

貸倒引当金繰入額の計上及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）において、下記のとおり貸倒引当金繰入額を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2023年4月14日に公表しました2024年2月期の通期連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額の計上

「水まわりサービス支援事業」の加盟店等に対する債権について、当該企業からの入金が遅延していることから債権の回収見込みが不確定であるため、当該入金遅延債権に対して、2024年2月期において貸倒引当金繰入額98百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

2. 連結業績予想と実績値との差異について

2024年2月期 通期連結業績予想と実績値との差異（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,182	百万円 128	百万円 139	百万円 132	円 銭 50.91
実 績 (B)	4,838	△260	△239	△212	△70.81
増 減 額 (B - A)	△343	△388	△379	△344	
増 減 率 (%)	△6.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	4,575	△257	△241	△170	△79.78

3. 差異の理由

(1)水まわりサービス支援事業

売上高につきましては、繁忙期である第4四半期において暖冬の影響もあり入電数が見込みから約30%下回ったこと等により見込みから551百万円下回りました。営業利益につきましては、上記の要因に加えて、上記1.の貸倒引当金繰入額98百万円を計上したこと、繁忙期における入電単価が見込みから約25%増加したこと等により見込みから325百万円下回りました。

(2)広告メディア事業

連結子会社である株式会社生活救急車の繁忙期である第4四半期において暖冬の影響もあり売上高が見込みから約25%下回ったこと等により、売上高が見込みから173百万円、営業利益が見込みから152百万円下回ることとなりました。

(3)ミネラルウォーター事業

新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限の緩和もありホテル等を納品先とするプライベートブランド商品の販売が好調だったこと等により、売上高が見込みから385百万円、営業利益が見込みから88百万円上回りました。

(参考) 事業セグメント別の通期業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	実 績 (B)	増 減 額 (B-A)
売上高	水まわりサービス支援事業	3,332	2,776	△555
	広告メディア事業	610	436	△173
	ミネラルウォーター事業	1,240	1,625	385
	合 計	5,182	4,838	△343
営業利益	水まわりサービス支援事業	5	△319	△325
	広告メディア事業	80	△72	△152
	ミネラルウォーター事業	43	131	88
	調 整 額	—	0	0
	合 計	128	△260	△388

以上